

令和6年度東北地方発明表彰について

令和6年10月23日

各地方における発明の奨励・育成を図り、地域産業の振興と科学技術の向上に寄与することを目的として大正10年に開始されたものです。全国を8地方に分け、各地方において優秀な発明(考案、意匠)を完成した発明者(考案者、意匠創作者)を表彰します。今年度は、本県から下記のとおり受賞が決定しました。

	受賞名	受賞者	発明名称	区分	概要
1	特許庁長官賞	三菱電機エンジニアリング株式会社 メディアシステム事業所 社会空間ICT部 主査 久柴 拓也 三菱電機エンジニアリング株式会社 取締役 メディアシステム事業所 事業所長 平 謙二	AIを用いた配筋検査装置	特許	建設業界では、建設投資額が年々増加している状況下においても労働人口の減少による人手不足や働き方改革関連法による時間外労働の規制が求められており、さらなる生産性の向上が喫緊の課題となっている。 その中で鉄筋コンクリート構造物の施工において鉄筋が設計通りに配筋されているかを検査する配筋検査は、従来スケールやマーカー等を使用して鉄筋本数・間隔・鉄筋径を手作業で検査しており多くの時間を要しているため省力化が望まれていた。 本発明では、ステレオカメラを用いて撮影した画像から三次元情報を取得することで、ステレオカメラと検査対象の配筋までの距離を一定にスケールリングした正対化画像を作成し鉄筋の正確な位置を検出し、機械学習モデルを使って鉄筋径を推論する手法を発明し、配筋を撮影するだけで配筋検査を実現した。
2	実施功績賞 (特許庁長官賞)	三菱電機エンジニアリング株式会社 取締役社長 齊藤 謙	AIを用いた配筋検査装置	特許	特別賞(文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長官賞、経済産業局長賞、発明協会会長賞、日本弁理士協会会長賞)の対象となった発明等が法人である場合、当該法人の代表者を対象として贈呈されるもの。
3	一般社団法人福島県 発明協会会長賞	福島エコクリート株式会社 取締役会長 横田 季彦	石炭灰混合材料の 品質管理方法	特許	本発明を用いた石炭灰混合材料の製造・販売事業は、福島イノベーション・コースト構想の一環として実施しているものであり、福島県浜通りにおける「雇用創出」、「産業副産物の地産地消」および「復興工事の加速」に寄与している。即ち、本発明による石炭灰混合材料製造事業を行うことで、復興地域における新たな雇用の創出、浜通りから搬出される石炭灰のリサイクル、および浜通りの各種復興工事へのリサイクル資材の供給を実現している。 石炭灰リサイクルにおいては石炭の炭種の違いに起因する重金属の溶出挙動を把握し、適切な溶出制御対策を確実に実施することが大きな課題となっている。本発明は石炭灰の運搬車両毎にサンプルを採取し、XRFにて搬入された石炭の成分を評価することで、環境安全性を満足する配合を決定し、プラント実ラインの運転を行う品質管理方法(システム)であり、石炭灰混合材料の製造・販売事業のベースとなっている。

《表彰式》 令和6年11月6日(水)14:00から、ウェディングプラザアラスカ(青森市新町1丁目11番22号 (017-723-2233))
《問い合わせ先》 一般社団法人福島県発明協会(電話 024-959-3351)

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆ 『地方発明表彰』とは ◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

■主催

公益社団法人発明協会

■共催

全国都道府県発明協会(今年度の東北地方の担当県は青森県)

■後援

文部科学省、特許庁、中小企業庁、日本弁理士会、一般財団法人工業所有権電子情報化センター、各経済産業局、

■表彰

□発明等に関する表彰

・特別賞【文部科学大臣賞、特許庁長官賞、中小企業庁長官賞、東北経済産業局長賞、公益社団法人発明協会会長賞、日本弁理士協会会長賞、県発明協会会長賞】

・発明奨励賞

□実施に関する表彰

・実施功績賞

発明等に関する表彰について、特別賞の対象となった発明等が法人である場合当該法人の代表者を対象として贈呈(発明者等と当該法人の代表者が同一の場合は除きます。)

□発明奨励に関する表彰

・奨励功労賞:発明協会事業を通じ、発明の指導、奨励、育成に多年にわたり尽力し、顕著な功績がある方に贈呈

一般社団法人 福島県発明協会
電話 024-959-3351